

# うおずみ学講座「自然・環境」

## 「第2回 魚住の水でつながる自然と文化」

日時	2011年7月24日(日) 9時30分～12時45分	晴れ
場所	清水高校・清湧館→新池→瀬戸川→庄内水路	参加者 31名

### 講座案内のチラシ

自然・環境フォーラム【ため池・水路・川】

学んで、見て、一緒に考えよう!!

つなごう生きもののネットワーク  
—— 生物多様性明石戦略 ——

期日：2011年7月24日(日) 小雨決行  
場所：県立明石清水高校・同窓会館「清湧館」2F 大講義室  
時間：午前9時30分～12時30分

参加対象：どなたでも参加できます 定員30名 参加費無料  
\*魚住浄水場屋上からの観覧に人数制限あり

内容：①明石、魚住の水でつながる自然 40分  
(いなみ野台地、ため池、水路、川)  
\*明石産池研究会 森本 真一氏  
②ため池の文化、今の取組みについて 20分  
\*いなみ野ため池ネットワーク推進協議会 三輪 顕氏  
③野外研修  
新池～西園街道～瀬戸川～魚住浄水場～JR魚住駅  
途中、解説を交えながら (解散)

主催：エコウイングあかし  
共催：明石市地球環境課、農水産課、緑化公園課  
県立明石清水高校、うおずみふるさと創生プロジェクト  
いなみ野ため池ミュージアム運営協議会  
協力：水産部 浄水課 魚住浄水場

申込み先：明石市地球環境課 (TEL. 078-918-5029)

注)会場へは出来るだけ公共交通(たこバス)でお越しください。  
JR魚住駅北口 @清湧館ルート 857-909 (台地住宅 下車)

2011年3月に制定された「生物多様性あかし戦略」の中でため池や川も重要な拠点の一つである。  
今回は、いなみ野台地に広がるため池・水路・川の中から瀬戸川流域を主に講義およびフィールド観察を行った。  
主催はエコウイングあかしで清水高校、うおずみふるさと創生プロジェクトなどが共催した。



森本先生の講義



県・三輪氏の講義



新池、宝恵池(江戸時代)を見なが



北野三本松の記念碑  
清水の水利の歴史が刻まれている

### ①魚住・水でつながる文化(森本先生から)

- ・いなみ野台地に広がるため池の歴史  
それをつなぐ水路、川の説明を聞く。
- ・瀬戸川、寛政池の成り立ちについて
- ・ため池の機能について  
用水供給機能・・・農業や生活のため  
空間・文化機能(新しく見直された価値)  
・・・防災、環境保全、景観、教育など

### ②「循環する水の路」による地域づくりの展開(三輪氏から)

- ・昨年からはまった新しい取組みの紹介  
～「里」と「海」でつなぐ豊かな海づくりにむけて～  
明石市で農業者と漁業者が連携協働し、ため池の栄養分(腐葉土)を有効活用する「豊かな海の再生プロジェクト」が進んでいる  
→池干しの時、底泥土を川から海へ流し、海域の栄養塩を増やす  
→ノリの色づきを良くする。(一部で効果を確認)



魚住浄水場360度のパノラマ  
(約標高70m)

いなみ野台地全体、瀬戸川、寛政池を望む 台地の形状に沿ってつながる庄内掘割を観察  
→JR魚住駅で解散



まとめ：なんとといっても魚住浄水場からの360度パノラマは圧巻、神出から南西に広がるいなみ野台地が一望できる。  
低い山と広大な平地に川、ため池、水路がつながり、古からの先人達の営みを実感できたフォーラムになった。